

# ～ユビキタスネット社会を実現するためのVIIC基盤技術に関する研究開発～

委託先：(株)SOBAプロジェクト

研究代表者：(株)SOBAプロジェクト 緒方 敏博(当時)

研究期間：平成17年12月～平成19年11月

主な研究実施場所：京都府京都市

**研究成果：**本研究開発課題では、双方向によるビジュアル重視のコミュニケーション手段を実現すること、またビジュアルコミュニケーションを重視するシステムを実現することを目的に、ユビキタスネット社会における新たなソフトウェア基盤技術の開発に取り組んだ。

同時に、開発成果を用いて、ビジュアルコミュニケーションシステムの事業化を行い、市場に投入し商用化を行った。

本研究では、以下の成果が得られた。

- (1) VIICモールを実現するためのSOBAフレームワーク機能改良拡張に関する研究開発
- (2) SOBAフレームワークを応用したVIICソフトウェアに関する研究開発
- (3) VIICモールと関係するWebアプリケーション・サーバに関する研究開発
- (4) VIICモールにおけるユーザ情報管理システムに関する研究開発

(5) VIICモールの汎用的なシステム構成や運用等に関する研究開発

本研究成果は今後、PCやスマートフォンなどのクロスプラットフォームにおけるビジュアルコミュニケーションシステム製品としての活用が見込まれる。

また、同時に、開発成果を用いて、ビジュアルコミュニケーションシステムの事業化を行い、市場に投入し商用化を行った。

具体的には、SOBA mierukaという名称のWeb会議システム(<http://mieruka.soba-project.com>)の商品化を行い、多数のユーザに利用されている。

研究成果説明図：

